

第215回 共同学習会

さわって、覚える
クリッカー研修会
(Windows VISTA 版)



日時： 2009年3月10日
場所： 自然科学系図書館棟 地下1階 G15会議室
主催： 大学教育開発・支援センター

第1章. 設問の作り方

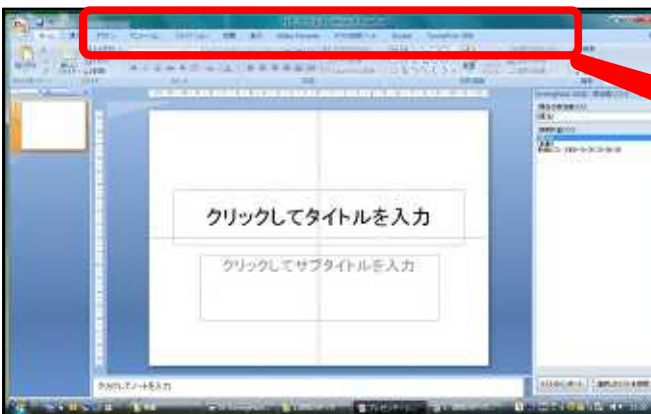
【操作概要】 TurningPoint を立ち上げる → 設問を作る



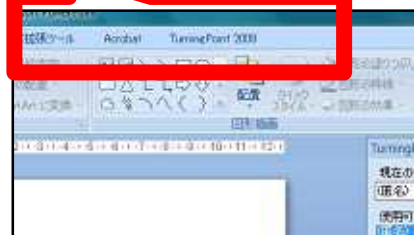
① TurningPoint のアイコンをダブルクリックする



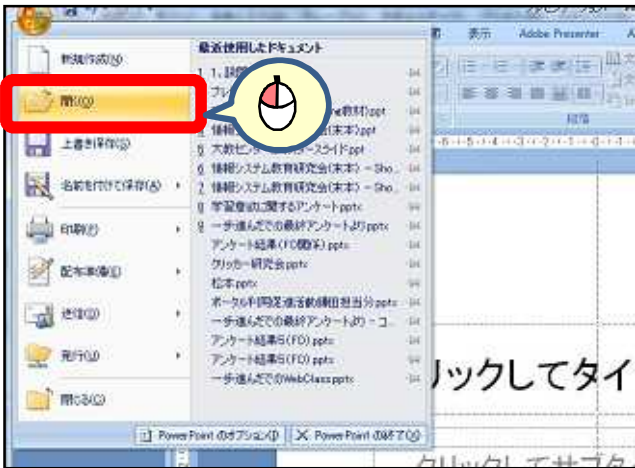
② TurningPoint が起動する



③ Power Point の起動画面が立ち上がる



ツールバーに
「TurningPoint」が表示される



- ④ 「開く」より、授業で使う
PowerPointファイルを開く



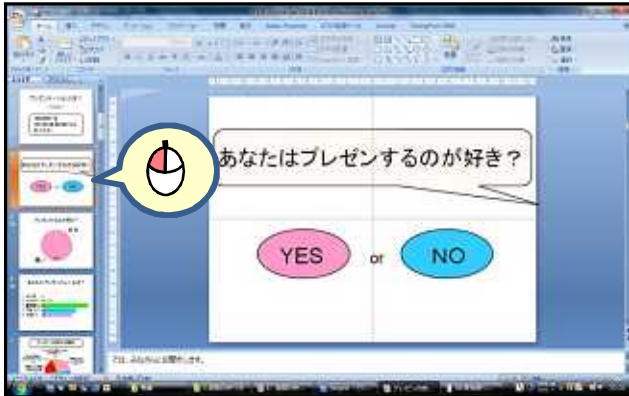
- ⑤ 授業のPowerPointファイルが開かれた



- ⑥ 参加者リストを閉じる

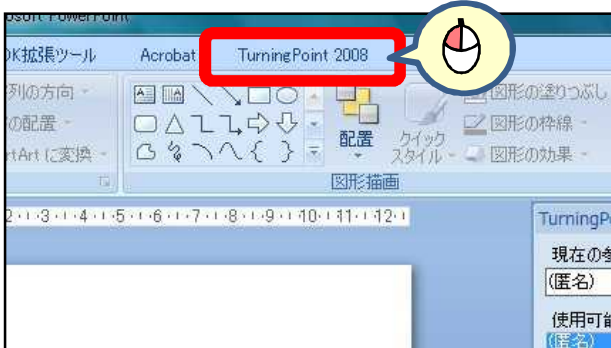
→ 画面を広く使うため。
必要なときは自動で表示される。





- ⑦ 問題作成予定のひとつ前のスライドを選択する

→ 左の写真は、場所の目印として作っておいたスライド。後に削除するつもり。



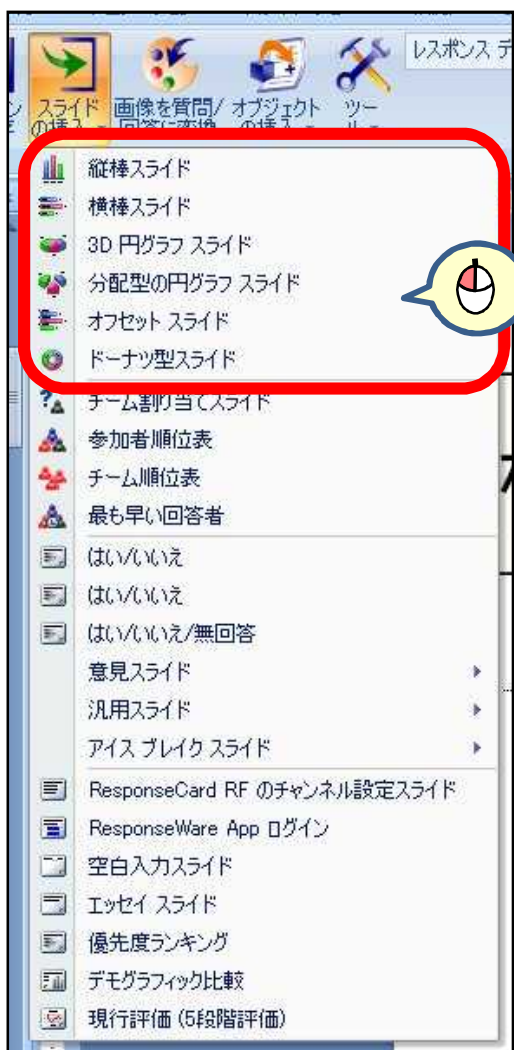
- ⑧ ツールバー「TurningPoint」をクリックする



- ⑨ [スライドの挿入]をクリックする

→ 現在選択中の次のスライドとして作成される。



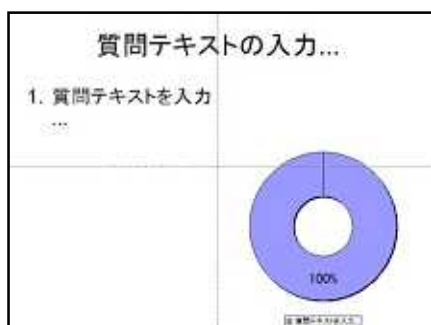


⑩ グラフを選択する

- 縦棒スライド
- 横棒スライド
- 3D円グラフ スライド
- 分配型の円グラフ スライド
- オフセット スライド
- ドーナツ型スライド


が基本的な質問スライドである。

いろいろな種類が用意されているが、授業で有用と思えるものの多くは、基本スライドで作成可能である。



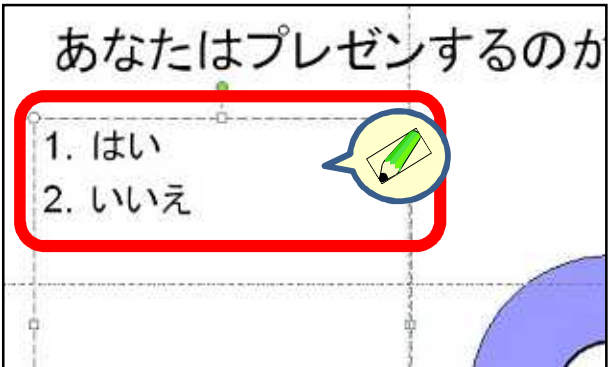
⑪ 新しい設問スライドが作られた

→ 左の図は「ドーナツ型スライド」。



⑫ 設問項目を入力する

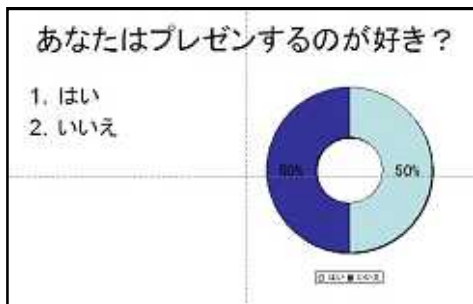
→ 必ず記入する。
空白だとエラー扱いとなり、
設問スライドにならない。



⑬ 選択肢を入力する

→ 文字を入力した後で、改行(Enter)すると
次の選択肢が入力できるようになる。

「1.」や「2.」は自動で入力される。



⑭ これで完成

→ とりあえず、自動的に100%を選択肢数で
割った値で色分けされる。
(左の場合は選択肢が2つなので、50%ずつ)

第2章. クリッカーの動作を確認する

【操作概要】 レシーバーを挿す → スライドショーを進める



① レシーバーを用意する

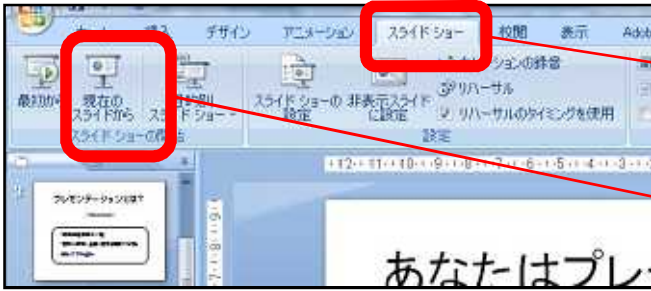


② USBにレシーバーを挿入する



③ 設問スライドを表示する

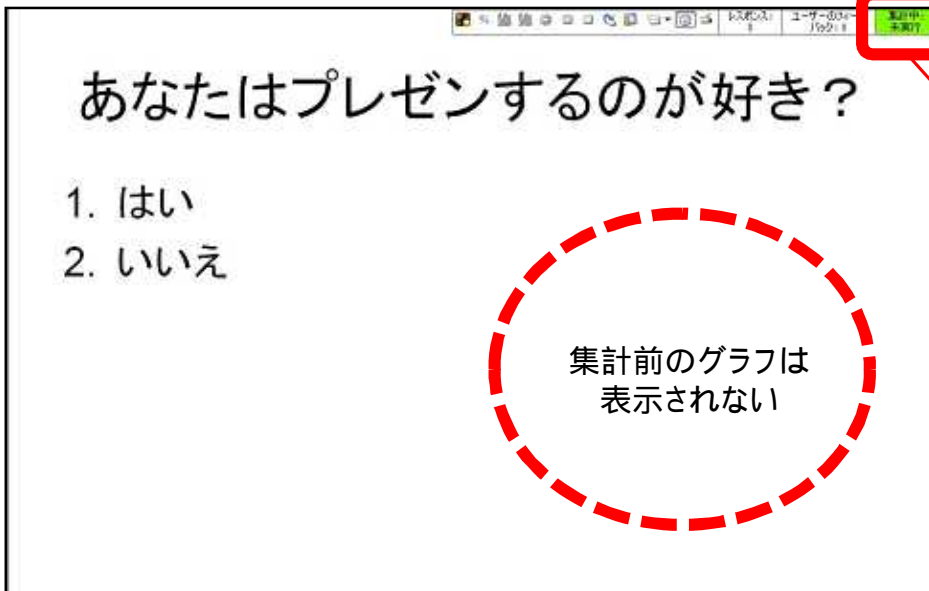




④ ツールバー「スライドショー」をクリックする

⑤ 「現在のスライドから」をクリックする

→ キーボードのF5を押して
最初からでも構わない



⑥ スライドショーが始まる

緑色になったら、集計可能
↓
「クリッカーを押して下さい」



⑦ クリッカーで選択肢の番号を押す

→ 押し間違いをしても、
後に押した方が回答となる



(緑) 受信された



(オレンジ) 受信されなかった





あなたはプレゼンするのが好き？

1. はい
2. いいえ

The slide is part of a presentation software interface. A red box highlights the top right corner, which contains a green bar with the text '集計中' (Collecting) and a red 'X' icon.

⑧ 集計が開始される

回答者数がカウントされる
(参加者の総数としても
利用できる)



or



⑨ 回答数を見ながら、適度な頃合いで
スライドショーをひとつ進める

- ・左クリック
 - ・キーボードの右
 - ・キーボードの下
- など



あなたはプレゼンするのが好き？

1. はい
2. いいえ

The donut chart shows 55% for 'はい' (Yes) and 45% for 'いいえ' (No). A legend at the bottom identifies the colors: blue for 'はい' and light blue for 'いいえ'.

⑩ 結果が表示された

→ 集計が終わると、
右上の緑が“赤”に変わる。

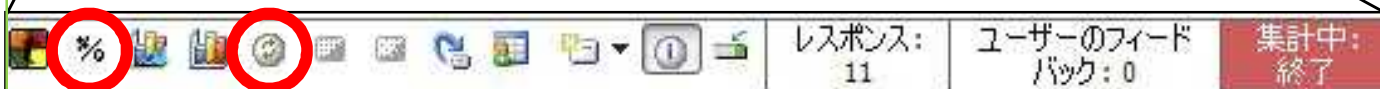
第3章. 結果のスライドを操作する

【操作概要】 数値の表記形式を変える & 集計をリセットする

(1) スライドショーのツールバーで操作する



① スライドショーで結果のスライドを表示する



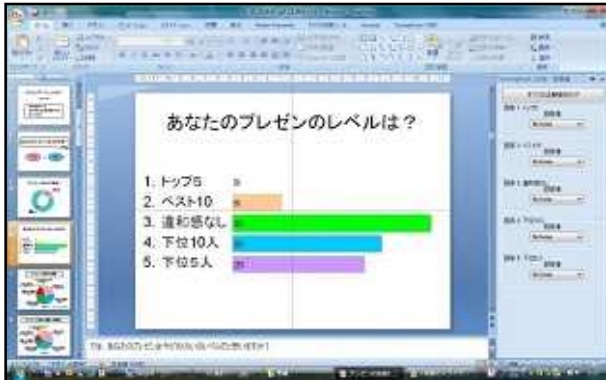
「%表示」と「絶対値」の切り替え (F2)

回答数

現在の集計をやり直す (F4)

上のツールバーにアイコンを乗せると、ポップアップでコメントが表示されるので、必ずしも覚える必要はない。

(1) PowerPointのリボンから集計をリセットする



① リセットしたい設問スライドを表示する

→ 集計後、データが確定した
グラフが表示されている



② TurningPointのリボンを開く

③ 「リセット」をクリックする



④ 「現在のスライド」をクリックする

→ 現在表示中の設問が再集計できる。

④' 「すべてのスライド」をクリックする

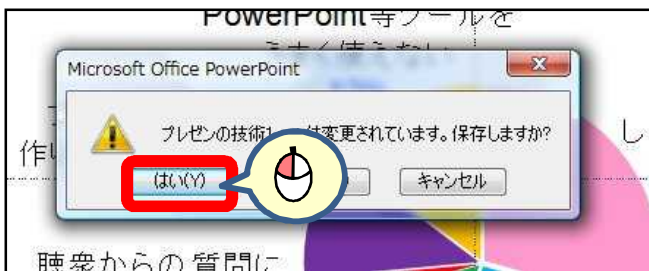
→ ファイル内の設問が全て再集計できる。
授業前の確認の後に使うと便利。

第4章. データを保存する

【操作概要】 閉じる操作 → データファイルの保存

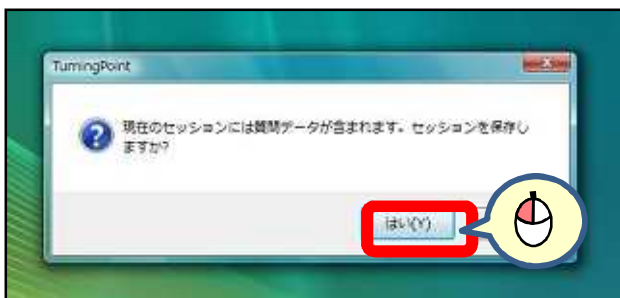


① 集計後、PowerPointを閉じる



② PowerPointのファイルを保存するかを聞かれる。

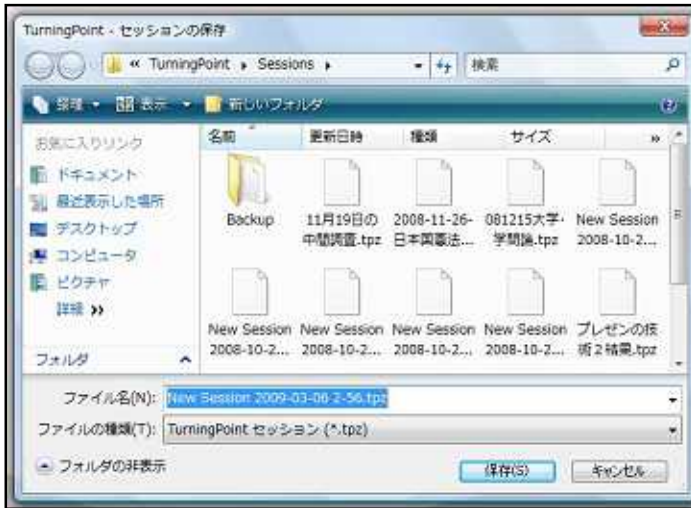
→ 保存するとグラフも保存される
次回、グラフの閲覧だけなら、TurningPointを立ち上げるは必要はない



③ 場所を指定し、名を付けて保存する

④ セッションデータを保存するかを聞かれる。

→ 質問データの入っているファイル
試してなければ、保存しておくとい

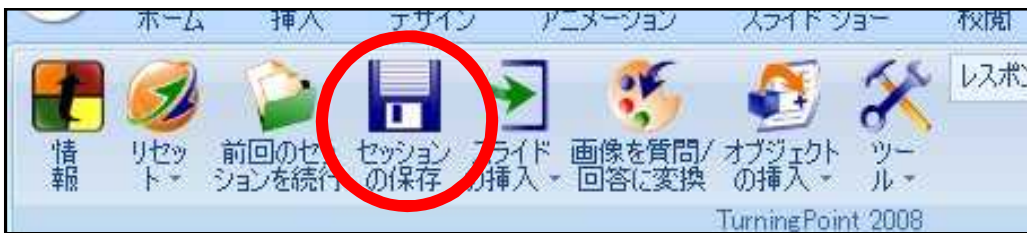


⑤ 「名を付けて保存する」

→ デフォルトは、
My Documents > TurningPoint >
Sessions のフォルダとなっている。

TurningPointが再スタートや
レポート作成時にまずこのフォルダを
検索する。

セッションデータのファイルの
拡張子は.tpzである。

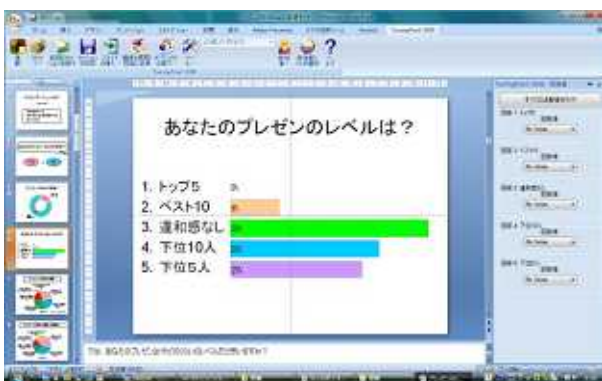


セッションデータの保存は編集画面からもできる。

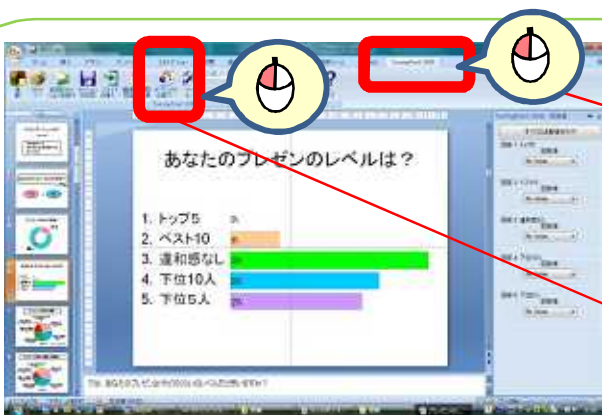
→ この操作だとPowerPointを閉じる必要がない

第5章. 参加者数を大きく表示する

【操作概要】 レスポンスカウンターを追加する




- ① レスポンスカウンターを設置するスライドを表示する



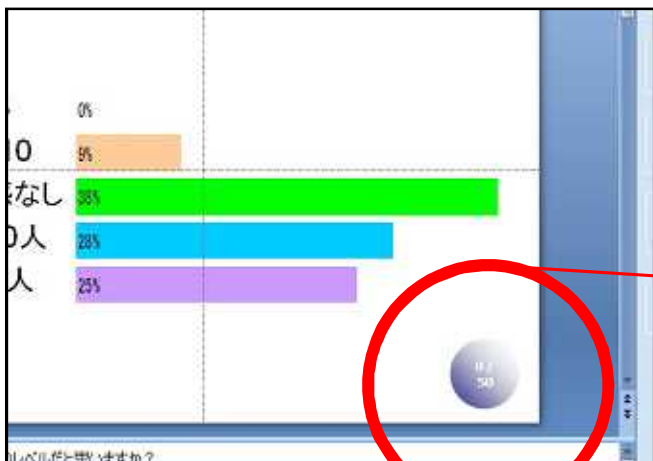
- ② 「TuriningPoint」のリボンを表示する

- ③ 「オブジェクトの挿入」をクリック





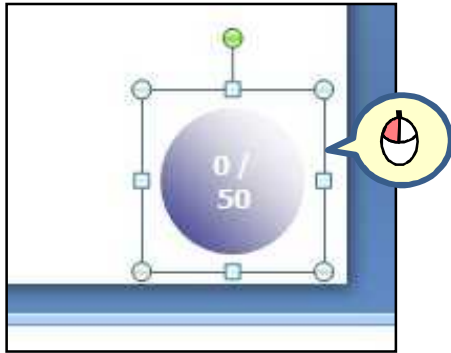
④ 「レスポンスカウンタ」より
6種類のカウンタを選ぶ



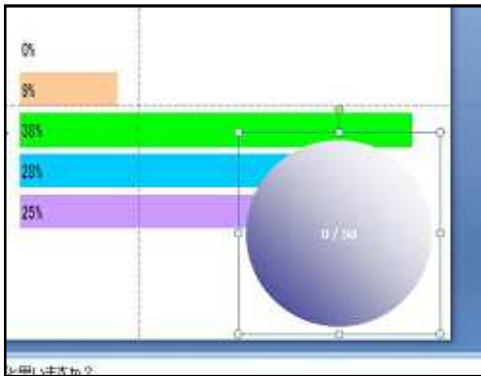
⑤ カウンタが追加された
→ 写真は「バブル」



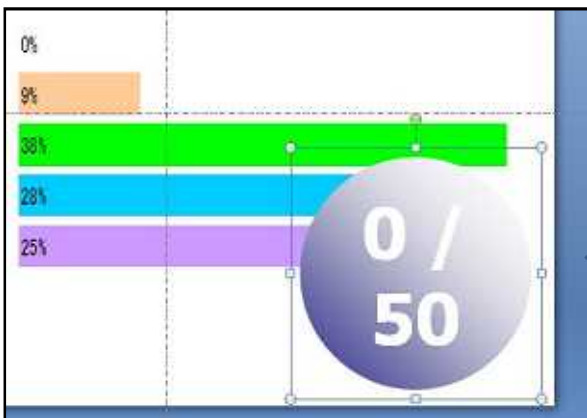
初期状態では小さくて見にくいので、
通常PowerPointで図形の大きさを変えているように
カウンタの大きさを増やすことができる。



⑥ レスポンスカウンタを選択する



⑦ レスポンスカウンタを拡大する



⑧ 文字を大きくする



→ 文字色や背景色を濃くすると見やすくなる